

## 別紙2 設計と条件

### 1. 体験学習施設

- ①想定浸水深 0.5m-3.0m区域を考慮し、一時避難地としての施設機能を備えるもの
- ②子どもを中心とした利用者を想定した施設機能
- ③バリアフリーに配慮した設計
- ④1万冊程度の図書を備える書架を想定
- ⑤緑の学習・工作体験を行う諸室の想定
- ⑥ユニバーサルデザインを採用の上、子育て世代に配慮した清潔でゆったりとしたトイレ空間の検討(女性用パウダールーム、子どもトイレ、多機能トイレなど)。
- ⑦県産材の活用
- ⑧だれもが分かりやすいサイン計画
- ⑨ZEB化への取組

### 2. 西区画

- ①バリアフリーに配慮した誰もが移動しやすい導線
- ②道路と敷地の最大1.5mの高低差解消方法の検討
- ③賑わいが感じられ足を運びたくなる空間計画

### 3. イベント広場

- ①マルシェや市民イベントを想定した広場を計画
- ②雨天時を想定し屋根付き広場(または体験学習施設のテラス等の軒先)が隣接する空間を想定
- ③キッチンカー等が設置しやすい舗装仕様/導線計画を検討

### 4. 駐車場

- ①体験学習施設(子育て支援複合施設)等を整備することから施設機能に応じた加算が必要
- ②障がいを持った方、子ども連れの方が優先的に使える駐車場を施設近くに配置
- ③施設利用者に優しい車寄せ等の配置計画
- ④EVステーションの設置
- ⑤雨天時を考慮した駐車場からの導線計画
- ⑥バリアフリーに配慮した設計

### 5. トイレ・備蓄倉庫

- ①トイレ・倉庫等の配置計画

6. 屋根付き広場

①カフェやシンボルツリー位置を考慮した配置計画

※カフェ等、便益施設の設置の有無については、本業務のサウンディング調査を踏まえ検討する

7. 外周園路

①車道に出ずに公園内を周遊できる導線計画

②導線を公園内にも引込み歩くのが楽しい区間に

③公園への出入り口の増設を検討

8. 東屋・ウッド/展望デッキ等

①公園内に点在する休憩所等

②富士山の眺望が良いことから展望（デッキ）施設の適正は高いため配置を検討

③配置計画

9. キンラン・ギンラン生育エリア

①キンラン・ギンラン生息区域への建築は不可とし、生息環境を保全する

10. 公園全体

①旧山梨県緑化センター跡地の既存樹木は可能な限り保全する（中央区画・北区画）

②ゼロカーボンの実現に向けた再生可能エネルギーの活用等の検討が必要（太陽光/風力発電/地熱利用 等）

③防犯など安全性を確保するため視認性向上の必要がある

④一時避難地としての機能及び導線を計画

⑤DX や IOT 等のデジタル技術を活用したアクティビティの検討

⑥別途発注している公園設計業務との調整